学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	課題研究	単位数	3 単位	年次	3 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

課題研究では３つの班に分かれ、希望する１セクションを選び生徒が自ら問題意識を持って課題を決めていく。１．ユニバーサルデザイン、２．コンパクトデザイン、３．ユーモアのある雑貨デザインが設定される。各班で教科担当者と相談しながら学習を進めていく。受け身ではなく、能動的に課題を進めていくことを重要視。コンペティションにも積極的に参加する。作品のプレゼンテーションや情報発信にも重点をおき、自己がデザインした作品を発信する手法にも取り組む。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
プロダクトデザインに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得したもの活かして社会に通用しうる作品作りに挑む。
【思考力、判断力、表現力等】
自ら課題を見つけて解決していく。自己のテーマ設定をしっかり行い、分析・検討を生徒自ら行うことを求め
【学びに向かう力、人間性等】
デザイン工程を計画し、調査・検討・デザイン企画・情報発信をデザインワークとして取り組む。最後に様々な方法でのプレゼンテーションに取り組む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	プロダクトデザイン（工業分野）のもつ社会的な意義や役割を理解し、人と技術との関わり踏まえて、関連するデザイン能力や造形表現能力に加え、現代の社会に求められる、デジタルデザインスキルを身に付ける。	プロダクトデザイン（工業分野）の人と技術との関わりを踏まえて、問題を自ら課題を発見し、解決する力を養う。	プロダクトデザイン（工業分野）のもつ社会的な意義や役割を理解し、人と技術との関わりを踏まえて、関連するデザインや造形に深い関心と意欲をもち、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	ユニバーサルデザイン	●グランドテーマ提示 ・個人テーマ設定 ・情報収集 ・コンセプト ・アイデアスケッチ ・パースおよび三面図 ・制作の基本素材 ・モデル制作 ・作品制作 ・プレゼンボード制作 又はプレゼン映像制作 ・発　表	a：作業工程を理解して適切な時間配分を行いアイディアや制作を行うことができるか。また、諸注意を聞いて安全に配慮しつつ作業を行うことができているか。 b:現代の社会に求めれる問題を自ら課題研究し、調査することができる。個人テーマを考え豊かな発想のアイディア展開・コンセプト立案ができ、機能的で魅力的なデザインである C:自己の作品を発信するためのプレゼンツール制作や良好なプレゼンテーションができ,主体的かつ協働的に取り組むことができる。	学習状況の観察 作品制作過程 デジタルスキル 作品	調査レポート アイデア検討会 企画 コンセプト アイデアスケッチ 試作モデル	学習状況の観察 プレゼンテーション 課題の提出状況
2	コンパクトデザイン	●グランドテーマ提示 ・個人テーマ設定 ・情報収集 ・コンセプト ・アイデアスケッチ ・パースおよび三面図 ・制作の基本素材 ・モデル制作 ・作品制作 ・プレゼンボード制作 又はプレゼン映像制作 ・発　表	a：作業工程を理解して適切な時間配分を行いアイディアや制作を行うことができるか。また、諸注意を聞いて安全に配慮しつつ作業を行うことができているか。 b:現代の社会に求めれる問題を自ら課題研究し、調査することができる。個人テーマを考え豊かな発想のアイディア展開・コンセプト立案ができ、機能的で魅力的なデザインである C:自己の作品を発信するためのプレゼンツール制作や良好なプレゼンテーションができ,主体的かつ協働的に取り組むことができる。	学習状況の観察 作品制作過程 デジタルスキル 作品	調査 レポート アイデア検討会 企画 コンセプト アイデアスケッチ 試作モデル	学習状況の観察 プレゼンテーション 課題の提出状況
3	ユーモアのある雑貨デザイン	●グランドテーマ提示 ・個人テーマ設定 ・情報収集 ・材料研究 ・コンセプト ・アイデアスケッチ ・モデル制作 ・作品制作 ・プレゼンボード制作 又はプレゼン映像制作 ・発　表	a：作業工程を理解して適切な時間配分を行いアイディアや制作を行うことができるか。また、諸注意を聞いて安全に配慮しつつ作業を行うことができているか。 b:現代の社会に求めれる問題を自ら課題研究し、調査することができる。個人テーマを考え豊かな発想のアイディア展開・コンセプト立案ができ、機能的で魅力的なデザインである C:自己の作品を発信するためのプレゼンツール制作や良好なプレゼンテーションができ,主体的かつ協働的に取り組むことができる。	学習状況の観察 作品制作過程 デジタルスキル 作品	調査レポート アイデア検討会 企画 コンセプト アイデアスケッチ 試作モデル	学習状況の観察 プレゼンテーション 課題の提出状況

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度